

改正案

現行

P6

6 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の量の見込みと確保目標量

(1) 放課後児童クラブの量の見込みと確保目標量*1)

量の見込みと確保目標量(平日)

(単位:人)

		将来児童数				将来利用推計(ニーズ量)※			
		H28	H29	H30	H31	H28	H29	H30	H31
量の見込み	1年生	387	395	360	353	99	101	92	98
	2年生	390	380	388	354	97	95	97	125
	3年生	392	387	377	385	84	83	81	100
	4年生	417	387	382	372	64	60	59	56
	5年生	395	414	384	379	13	13	12	14
	6年生	395	395	414	384	13	13	14	6
計 ①						370	365	355	399
確保目標量	現状の利用可能人数 ②					295	295	295	295
	新たな施設整備による確保人数(累積) ③					20	20	70	90
	計 (②+③)					315	315	365	385
(②+③) - ①						△55	△50	10	△14

※放課後児童クラブの利用要件にない人を除いています。つまり、利用要件にある人(両親共に平日の放課後に子どもの世話ができない状況にある人/母子又は父子世帯で平日の放課後に子どもの世話ができない状況にある人/父母と子どもが同居していない人)に限定しています。

サービスの確保・実施方策*5)

- 放課後児童クラブで6年生までを受け入れていくこととすると、現在、放課後児童クラブを実施している児童館施設では対応できなくなることが予想されます。
- また、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を実現していくためには、小学校施設を有効活用して放課後児童クラブを開設していく必要があります。
- そこで、まずは、平成28年4月の開設を目指して、岩倉南小学校と岩倉東小学校の2小学校区において、小学校の余裕教室の有効活用による放課後児童クラブ施設としての改修・整備を実施します。これによって、岩倉南小学校区の定員を現状の40人から60人に拡大します。また、これに合わせて、岩倉南小学校区における放課後児童クラブの利用対象学年を6年生まで拡大します。
- 残りの3小学校については、児童数が多いため小学校の余裕教室がない状況です。そこで、学校敷地内に専用施設を建設する又は学校施設の改築に合わせた放課後児童クラブの開設について検討・整備を進めることによって、ニーズ量の見込みを満たすサービス

P6

6 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の量の見込みと確保目標量

(1) 放課後児童クラブの量の見込みと確保目標量*1)

量の見込みと確保目標量(平日)

(単位:人)

		将来児童数				将来利用推計(ニーズ量)※			
		H28	H29	H30	H31	H28	H29	H30	H31
量の見込み	1年生	387	395	360	353	99	101	92	90
	2年生	390	380	388	354	97	95	97	89
	3年生	392	387	377	385	84	83	81	82
	4年生	417	387	382	372	64	60	59	57
	5年生	395	414	384	379	13	13	12	12
	6年生	395	395	414	384	13	13	14	13
計 ①						370	365	355	343
確保目標量	現状の利用可能人数 ②					295	295	295	295
	新たな施設整備による確保人数(累積) ③					20	20	50	70
	計 (②+③)					315	315	345	365
(②+③) - ①						△55	△50	△10	22

※放課後児童クラブの利用要件にない人を除いています。つまり、利用要件にある人(両親共に平日の放課後に子どもの世話ができない状況にある人/母子又は父子世帯で平日の放課後に子どもの世話ができない状況にある人/父母と子どもが同居していない人)に限定しています。

サービスの確保・実施方策*5)

- 放課後児童クラブで6年生までを受け入れていくこととすると、現在、放課後児童クラブを実施している児童館施設では対応できなくなることが予想されます。
- また、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を実現していくためには、小学校施設を有効活用して放課後児童クラブを開設していく必要があります。
- そこで、まずは、平成28年4月の開設を目指して、岩倉南小学校と岩倉東小学校の2小学校区において、小学校の余裕教室の有効活用による放課後児童クラブ施設としての改修・整備を実施します。これによって、岩倉南小学校区の定員を現状の40人から60人に拡大します。また、これに合わせて、岩倉南小学校区における放課後児童クラブの利用対象学年を6年生まで拡大します。
- 残りの3小学校については、児童数が多いため小学校の余裕教室がない状況です。そこで、学校敷地内に専用施設を建設する又は学校施設の改築に合わせた放課後児童クラブの開設について検討・整備を進めることによって、ニーズ量の見込みを満たすサービス量を確保していくものとします。

量を確保していくものとします。

- 一方、夏休みにおける放課後児童クラブの利用見込み量は、平日の利用者を大きく上回ることが予想されることから、現在、五条川小学校区や岩倉北小学校区で行われているように、他施設を臨時的に利用することによって対応していくものとします。
- また、土曜日や夏休みといった学校休業日の放課後児童クラブの開所時間は、現在は午前8時となっていますが、保護者の要望を踏まえ、保育園と同じ時間である午前7時30分に改善していくものとします。*7)
- 平成30年度から第六児童館放課後児童クラブを五条川小学校の敷地内の五条川小学校放課後児童クラブ施設へ移行し、定員を30人から80人に拡大するとともに、支援の単位を2単位とします。また、利用対象学年を6年生まで拡大するものとします。
- 平成31年度から岩倉南小学校放課後児童クラブにおいて、岩倉南小学校の余裕教室を有効活用して定員を60人から80人に拡大するとともに、支援の単位を2単位とします。

参考図表1 学年別「夏休みの放課後児童クラブの利用ニーズ」

(単位：人)

学年	将来児童数				将来利用推計(ニーズ量)※			
	H28	H29	H30	H31	H28	H29	H30	H31
1年生	387	395	360	353	170	173	158	155
2年生	390	380	388	354	171	167	170	155
3年生	392	387	377	385	148	146	143	146
4年生	417	387	382	372	124	115	114	111
5年生	395	414	384	379	66	69	64	63
6年生	395	395	414	384	40	40	41	38
計					719	710	690	668

※平日通年利用者も含む

参考図表2 小学校別「夏休みの放課後児童クラブの利用ニーズ」

(単位：人)

小学校名	将来利用推計(ニーズ量)※			
	H28	H29	H30	H31
岩倉北小学校	264	261	253	245
岩倉南小学校	124	122	119	115
岩倉東小学校	34	34	33	32
五条川小学校	99	98	95	92
曾野小学校	198	195	190	184
計	719	710	690	668

※平日通年利用者も含む

- 一方、夏休みにおける放課後児童クラブの利用見込み量は、平日の利用者を大きく上回ることが予想されることから、現在、五条川小学校区や岩倉北小学校区で行われているように、他施設を臨時的に利用することによって対応していくものとします。
- また、土曜日や夏休みといった学校休業日の放課後児童クラブの開所時間は、現在は午前8時となっていますが、保護者の要望を踏まえ、保育園と同じ時間である午前7時30分に改善していくものとします。*7)

参考図表1 学年別「夏休みの放課後児童クラブの利用ニーズ」

(単位：人)

学年	将来児童数				将来利用推計(ニーズ量)※			
	H28	H29	H30	H31	H28	H29	H30	H31
1年生	387	395	360	353	170	173	158	155
2年生	390	380	388	354	171	167	170	155
3年生	392	387	377	385	148	146	143	146
4年生	417	387	382	372	124	115	114	111
5年生	395	414	384	379	66	69	64	63
6年生	395	395	414	384	40	40	41	38
計					719	710	690	668

※平日通年利用者も含む

参考図表2 小学校別「夏休みの放課後児童クラブの利用ニーズ」

(単位：人)

小学校名	将来利用推計(ニーズ量)※			
	H28	H29	H30	H31
岩倉北小学校	264	261	253	245
岩倉南小学校	124	122	119	115
岩倉東小学校	34	34	33	32
五条川小学校	99	98	95	92
曾野小学校	198	195	190	184
計	719	710	690	668

※平日通年利用者も含む